

絆

今だからこそ御近所力!

発行日 / 平成30年6月25日 発行者 / 網代和夫 編集 / あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会



就任のご挨拶

あきる野市町内会・自治会連合会

会長 網代和夫

この度、あきる野市町内会・自治会連合会長を仰せつかりました。この重責を担えるか多少不安もございましたが、初心者マークを付け奮闘しているところでもあります。皆様のご指導を賜り懸命に努める所存でございますのでよろしくお願ひ申し上げます。

町内会・自治会が直面している課題としては、あきる野市だけの問題ではありませんが、各町内会・自治会への加入率の減少であります。町内会・自治会組織が何故このような状況にあるのか、このような状況になったのか、簡単には推し量ることはできません。「少子高齢化と家屋構造によるところ」「ネット社会の進展による生活利便性の向上」「隣近所とのコミュニケーションの希薄化」等が挙げられると思います。

平成29年11月に連合会では、平成26年11月26日発災した長野県北部を震源とするマグニチュード6・7震度5強あるいは6弱の公式発表ですが、被害状況から震度7とも言われている長野県白馬村へ視察研修に参りました。そこは、全壊半壊72棟、火災0件、負傷者46名(倒壊家屋下敷き6名)という集落(神城地区)がほぼ壊滅的な状況となる大きな地震が

ありました。しかし、死者がなく『白馬の奇跡』と言われております。この奇跡を起こした要因は、「ああした、こうした」といろいろありますが、日頃から日常生活を通じ培われた隣近所の助け合いが大きな力になり、救助・避難活動に繋がりに、尊い命を守ったのではと今でも語り継がれています。

ここ数年言われております東京直下型地震や異常気象による風水害に、いつ何時遭遇するかわかりません。隣近所による共助は災害時だけではなく、この『御近所力』を町内会・自治会活動を通じて強化を図る中で、小さなお子さんから高齢者の方まで、明るく過ごしやすい社会をつくりあげるものと確信しております。いろいろな課題が山積しておりますが、あきる野市町内会・自治会連合会は組織を挙げて、『必要とされる』『魅力ある』町内会・自治会を目指し、努力してまいりたいと存じます。ご支援よろしくお願ひします。



余瀝

Aさんは、会社人間で家庭のことなど顧みず、がむしゃらに働いてきました。やがて定年を迎え、これからは趣味のゴルフと海外旅行を楽しもうと夢を膨らませていました。▼一年後、

町内会長から次期会長になるよう要請されました。これまで町内会の行事には一斉清掃くらいしか出ておらず、町内会のことはいささかありませんし、趣味の時間を奪われることに抵抗を感じました。しかし、会長から何度も言われ断ることも出来ず、妻に相談したところ、「今まで何もしてこなかったのだから罪滅ぼしに引き受けたら。」と言われませんでした。不承不承引き受けるを得ませんでした。なってみると行事も任務も多くて、ゴルフや海外旅行にもなかなか行けず、鬱屈とした思いでいました。▼ある時、町内会の長老からこのように言われました。「自分のためだけに生きる人生は本当の人生かなあ。人のためにどれほど尽くしたか、人のためにどう生きたかが人生では問われるのじゃあないかなあ。」胸にくさりと刺さりました。これまでの人生を振りかえらざるを得ませんでした。地域も家庭も疎かにしてきました。▼よし、これから皆さんと協力し合って、この地域を少しでも良くし、住みよい街にしよう。そのために自分の時間を捧げよう。と誓いました。今ではAさんは、すっかり地域に溶け込み、行事を会員とともに楽しみながら地域の活性化のために奮闘しています。

